



園通信



5 3 2 号
R7. 2. 12
いさわこども園

サラサラだよ！ 雪遊び 大好き！



築山の積もった雪の上に、「はじめの一步」をつけて元気に駆け出した子ども達！

もも組(3歳児)

うっすらと雪が園庭に積もると、子ども達はジャンプスーツを着て、雪の中に駆け出しました。冷たさを感じながら、雪の上に寝転んだり、築山を上り下りを楽しんでいます。雪だるまを作ったり、雪玉を遠くに投げてみたり、冬の自然を存分に楽しんでいます。

早いもので今年度も、残すところ2ヶ月となります。これまで私たちは子ども達が色々な環境の中で、感じたり、気づいたりしたことを、次には試したり、工夫したりする力につなげていく教育を発達に合わせて進めてまいりました。園生活の締めくくりの時期がきて、子ども達一人一人が大きくなったことを感じながら、子ども達の自信につながるような環境づくりや言葉がけ、関わりを大切にしていきたいと思ひます。



ケンさんとの交流会

きいろ組(5歳児)

ELTのデイヴィスケニススチュワートさんが来園して、楽しく英語に触れる機会を作ってくれました。会話の全てが英語で、表情と多彩なジェスチャーを駆使し、子ども達が「〇〇かな?」「△△!」と答えると、「good job!」と答えを引き出してくれました。体を動かすゲームをしたり、友達と力を合わせてパズルを完成させたり、絵本を読んでくれたり、曲に合わせて色探しをしながら、話を聞こうと目を輝かせていた子ども達です。



1月18日(土)

南都田地区センターの恒例行事

「新春ふれあい方言かるた大会」に いさわこども園PTA が参加しました

「耳が慣れるまで、難しい所もありました。」と話す出場の皆さんでした。結果は、初出場ながら見事2位! 決勝戦では、PTA会長さん、卒園児の三田さんが大活躍。一緒に参加した石川友美栄養士と八世恵先生は、大健闘していたと応援団からの話です。

佐々木宏和PTA会長さんから

思ったより盛大な大会で驚きながら参加しました。ネイティブな方言で「ね」と「え」の聞き取りが特に難しかったです。

石川友美栄養士から

南都田の方言に触れ合う機会になって勉強になり、楽しかったです。カルタ取りをしたのが、小学生以来で新鮮な気持ちになりました。

松本八世恵保育教諭から

カルタを通して、方言に触れる機会となり、楽しかったです。他のチームに先に取られると、雰囲気のにまれてしまっただけで焦ってしまいました。



地域の中にあるこども園として、地域の皆さんと触れ合える機会となり、参加させていただいてよかったです。



1月21日(火) 始業式



いよいよ、1号認定のお子さんもそろいました。園長がもも組、みどり組、きいろ組を回り、それぞれの年齢に合わせて3学期の始まりの話をしました。

節分やひな祭り、お別れ会、卒園式などの行事について、そして進級、入学の話をすると嬉しそうな表情を見せる子ども達でした。

3学期の約束について話を聞きました。

- ・自分でできることは、自分でできるようにしましょう。
- ・友達の良い所を見つけて、仲良く遊びましょう。
一人一人に良い所はいっぱいあるので、見付けて仲良くしましょう。
- ・病気やけがをしないように、毎日元気にこども園に登園しましょう。



きいろ組では、「自分のことは自分でできるようにする」について、具体的な姿を聞きました。
例えば…

- ・朝、自分で起きる。お家の人に起こしてもらわなくても大丈夫かな？
- ・自分のバックは自分で持って、こども園に登園できているかな？
- ・お道具箱やカバンかけのところは整理整頓してきれいにできているかな？

「あっ！」と気付いた子

「もう自分で何でもできる」

「もう少し頑張りたい」

「ちょっと焦っている」といろいろな思いを持った子ども達。

進級や入学に向けて、期待と不安はつきものです。急がずに毎日の積み重ねが自信につながります。自分でやろうとする様子を待つ時間を作ってもらったり、出来たことをたくさん褒めたりして、嬉しい気持ちとともに習慣づけられるようにしていきたいですね。



1月24日(金) みどり組「おみせやさんごっこ」をしました

24日のオープンに向けて、売りたいものを相談したり、品物を作りました。その中でストローと毛糸でネックレスを作ると「〇〇くんのすてきだね」と気分が盛り上がる言葉をかけ合う子ども達。「11%オフです」とセールのような呼びかけが具体的で面白く感じました。出来上がりを見せ合って喜ぶ姿が見られました。

「どんなふうに声をかけたら、お客さんは来てくれるかな？」と伝えると、言葉を工夫する子ども達でした。フードコートでは、「魔法のわかめ入りラーメン」も登場して、みんなで楽しむ姿が見られました。
【保育日誌より】



1月30日(木)

学校薬剤師の皆川さんによる環境検査を受けました。



水道水、空気、採光について、今回はみどり組の保育室で検査を受けました。薬剤師さんから「普段は病気の時の薬を作る仕事をしています」等とお話を聞く機会もありました。いろいろな機器を使つての検査で、ちょっと気になる子ども達でしたよ。

検査の結果、

- ・二酸化炭素が基準値内ではあるものの多めで、湿度も高めとのこと。
- ・保育室の南側の窓際では眩しすぎることもあるとのこと。

対策としては

- ・排煙窓などを利用して外側の窓と対角にある高い位置の窓を常時開けておき、空気の流れを作ること
- ・1時間に一度は大きな窓を開けて換気すること
- ・採光について、ロールカーテンを閉め、明るさを調整すること

1年に2回の検査を受け、安心安全の環境を整えていきます。



鬼のお面の製作を各クラスで取り組みました。自分で切ったり、貼ったりしたお面が出来上がると嬉しそうな子ども達です。並べて飾ると、季節の変わり目がもうすぐそこに来ていると感じました。

「節分の会」では、節分の由来を聞いたり、的当てなどをして楽しみました。鬼の登場には各クラスでいろいろなストーリーがあり、怖いながらも一人一人が勇気を込めて、豆を投げて、退治しました。各クラスの様子を保育日誌よりお知らせします。



カラーボールを豆に見立てて鬼の起き上がりこぼしに当てる遊びを先週から取り入れて、節分の雰囲気を楽しむことが出来た。【みるく組】



一緒に遊んでくれる鬼を感じてほしいと「マツケンサンバ」を流したが、それどころではない雰囲気だ。青鬼が帰った後、Bの「また来てね。バイバイ」という言葉に怖さだけではない思いを感じて、ホッとした。

【みかん①組】



鬼の登場では泣き出してしまおう子がほとんどだったが、Aが一人で豆を投げて退治しようとかんがっていた。近寄らないで退治しようとかんがえる姿がたくましく感じた。

【みかん②組】

鬼の登場に真っ先に気づいたC。保育教諭の近くに来たので、新聞紙の豆を渡してみると、鬼にめがけて投げに行き、戻ってきた。鬼が怖いと思いながら、投げようとかんがえる気持ちがすごいなと思った。鬼からうまい具合に離れながら豆を集めるDや鬼を見て「かっこいい」というEなど、たくさんの思いが詰まった豆まきが出来て、良かった。

【あか組】



鬼がこわいEは、泣きそうな表情をしながらも必死で豆をぶつけようとしていた。終わってから「僕、泣かなかったよ。鬼に豆投げた」と安堵の表情で報告してきた。「すごいね。E君、強かったね」というと嬉しそうに微笑んだ。感想を聞く場を設けるとFが「あか鬼の口がギザギザしてたから怖かった」と自分の感じたことをみんなの前で話すことが出来た。聞く子ども達も落ち着いていたので、自分の思いを話す場も作っていききたい。みんなで作ったイワシを見せて、鬼を退治した。【もも組】



みんなで作ったイワシで鬼を退治！



鬼のパンツについて話をしたり、パネルシアターで節分の由来について話をした。鬼が登場すると、みんなで決めたことをがんばって実行する。「優しい鬼ですか？」と聞いたり、踊りが苦手な鬼にソーラン節を踊って見せ、退治しようとした。最後には、みんなで作ったおにぎりを「優しい鬼でも、怖い鬼でもあげる」ことにしていたので、プレゼントすることが出来た。

次の日、鬼の手紙が届いた。「おにぎりおいしかった」と喜ぶ子ども達だ。【みどり組】

きいろ組 これまでのストーリー

1月の吹雪の日、雪の中に何かが見えた。ゆきおんなだ！その後、塚田丸から手紙が届く。

「小夜姫を助けようとしたが、もうすぐ大蛇に追いつかれそうだ。わんぱく探検隊、助けてくれ」

わんぱく探検隊は相談して、よい考えを思いつく。

「園庭で見たゆきおんなに大蛇を凍らせて封印してもらおう」

さらに相談は続いた。「どうやって、ゆきおんなにこのことを伝えたいか？」「鬼だったら、ゆきおんなを知っているかもしれない」「節分で鬼が来たら、お願いしてみよう。」ということで、いよいよ節分の日。

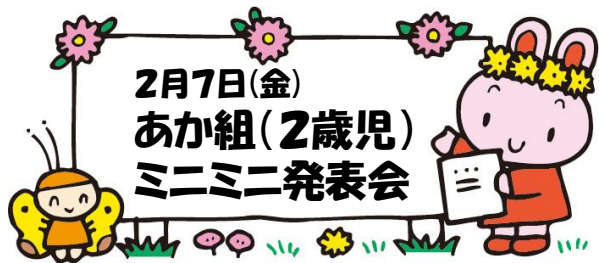


『自分の中の鬼を追い払う』ために、頑張っ豆を投げてみようとする子ども達であった。鬼の様子をよく見ていたGが「もしかして優しい鬼なの？一緒に遊びたいのかな？」と一言。他の子ども達も鬼の意志が分かり、安心して「じゃんけん大会」を楽しむ。わんぱく探検隊として「ゆきおんなへの手紙」を鬼に託し、今後の進展に期待する子ども達だ。【きいろ組】



当園では、安全に配慮し落花生などの豆は使用せず新聞紙を丸めた物を豆に見立てて使用しています。





2月7日(金)
あか組(2歳児)
ミニミニ発表会

あか組の子ども達のかわいらしさがいっぱい詰まった発表会となりました。

お忙しい中、あか組(2歳児)の保護者の皆様にお越し頂き、ありがとうございました。



発表会当日の様子



「みんなで頑張るぞ！えいえいおー」と元気いっぱい声を出してから発表会に向かう。お面をかぶると表情が変わり、ステージに立つ子ども達。お家の方を見つけて手を振ったり、はずかそうにする子など、いろいろな表情と姿が見られた。初めての発表会を本当によく頑張ったと感じながら、成長を実感する機会となった。【保育日誌より】



練習の様子



練習も、楽しくはりきって取り組んだあか組の子ども達です。2曲の踊りはどちらも大好きで、見ながら一緒に踊っていました。

ご結婚おめでとうございます

春を待ち遠しく心待ちにしておりましたが、こども園からいち早く、春を感じさせる幸せなご報告があります。

きいろ組担任 岩渕 紗李依 先生(12月入籍)

菅野 紗李依 先生となりました
末永くお幸せに

お知らせ



2 行事予定

月	火	水	木	金	土
					1
3 節分の会	4 避難訓練	5 あか組ミニミニ 発表会総練習 センター会議 リーダー会議	6 職員会議	7 ミニミニ発表会 あか組2歳児 若柳小学校体験入学	8 手作り弁当
10 南都田小学校入学 説明会・体験入学	11 建国記念の日	12 園内研	13 卒園児記念撮影 本部会議 法人研修委員会	14	15
17 給食会議 0歳児	18 みどり組4歳児 ことばの検査	19 わんぱく探検隊解散 式・竹ばやし引継式	20 誕生会 副理事長予算決裁	21	22 手作り弁当
24 振替休日	25	26 R7事業計画・ 予算調整会議	27 身体測定(以) 理事長・副理事長決裁 (いさわこども園)	28 身体測定(未) 職員会議 PTA役員会 プロジェクト定例会	3/1 



「これ読んで！」絵本大好き！

みかん②組の元気な子ども達、走ったり、踊ったり、元気いっぱいです。大好きな絵本を保育士に「これ読んで」と渡す様子も可愛らしいですね。自然に集まって、絵本の言葉を真似てみたり、同じように動いてみたり、夢中で見えています。今は「ぞうくんのおおゆきさんぽ」がお気に入りです。



🍊🍌🍌 お詫びと訂正 🍌🍌🍊

園通信1月号にて、生活発表会で保護者の皆様からお預かりした募金の金額に誤りがありました。24918円と掲載しましたが正しくは24825円でした。

訂正して、お詫びいたします。大変申し訳ありませんでした。



保育ボランティアを受け入れました

2月3日(月)～7日(金)

尚絅学院大学 3年 佐藤 望愛さん

3歳以上児の子ども達との触れ合いを持ちながら、きいろ組を中心に保育に入り、子どもや保育教諭について学びを深めました。

「はーい！」築山の上から



みどり組(4歳児)

雪だるまと一緒に!
もも組(3歳児)



「すべっちゃう」築山登り
もも組(3歳児)



みどり組(4歳児)つららみつけたの



みかん②組(1歳児)氷見つけたよ!つめたいね!



もも組(3歳児)お空キラキラだね



みかん①組(1歳児)雪玉を投げるのも上手です!

みかん①組(1歳児)楽しくて雪の上に寝転んだり



「つめたいの?」みるく組(0歳児)「ポイっと」

「大きいのできたね」あか組(2歳児)